

# 荒瀬ダム撤去工事概要について

熊本県企業局  
荒瀬ダム撤去室

# 目 次

1. 荒瀬ダム本体撤去工事について
  - 1) 平成28年度工事の結果
  - 2) 平成29年度工事の概要
2. 荒瀬ダム本体撤去関連工事について
3. 環境モニタリング調査について

# 1. 荒瀬ダム本体撤去工事について

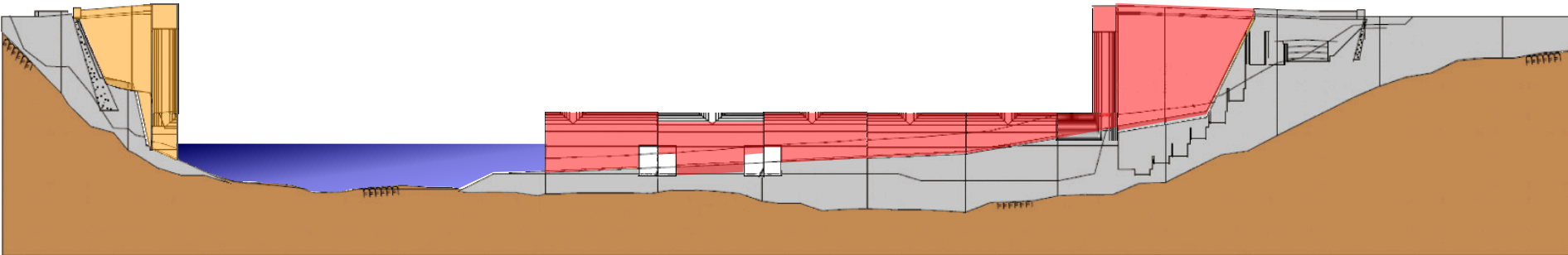
## 1) 平成28年度工事の結果

(H28年度)

堤体左岸部

右岸  
(県道)

左岸  
(国道)



■ :H28年度

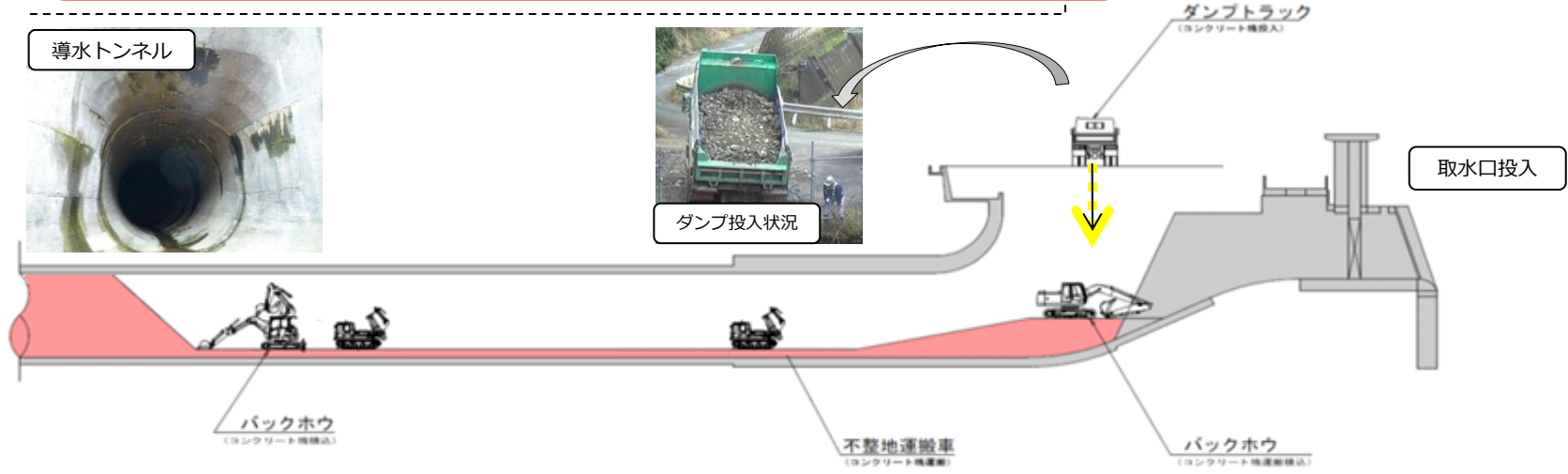
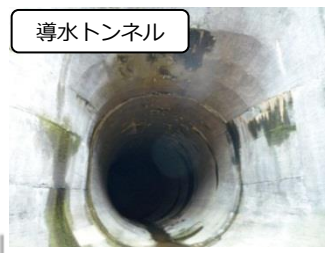
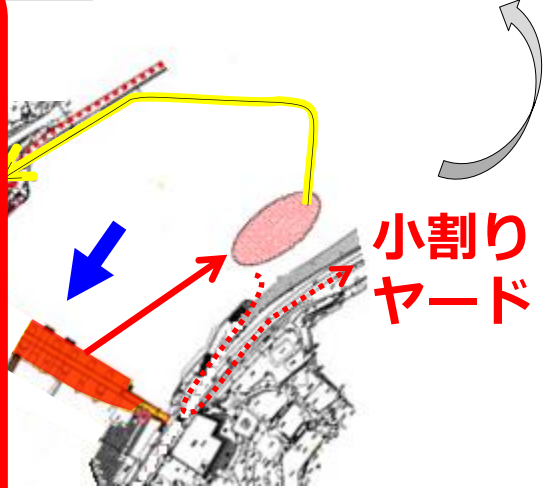
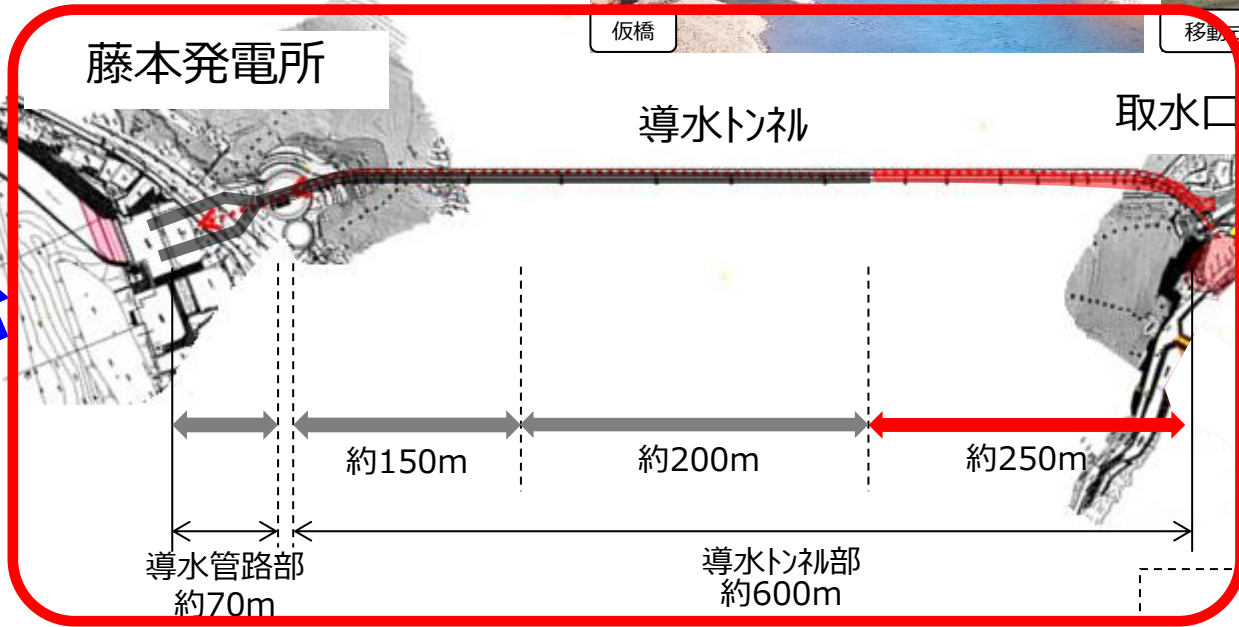
## 堤体越流部撤去

越流部上部 (3回目)



平成28年12月13日

# 導水トンネルの埋戻し



## 導水トンネル埋戻し

コンクリート殻搬入



積込み・運搬



コンクリート壁打設



埋戻し第5期完了

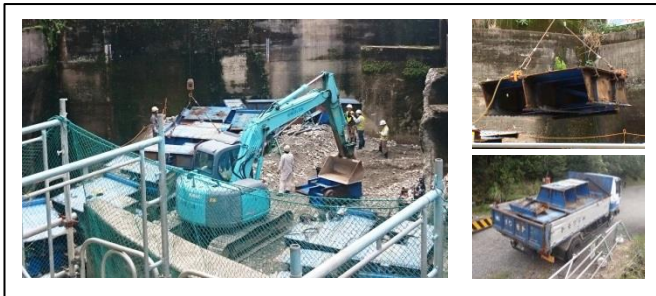


## 取水口埋戻し

ゲート等撤去



擁壁設置状況



埋戻し状況



埋戻し完了





## 環境対策（濁水処理・汚濁防止膜・防音壁）

環境対策の実施状況



濁水処理施設



防音壁



汚濁防止膜

ダム上下流域の現況（下流域から）



107m<sup>3</sup>/s

H29.4.28日撮影

1. 荒瀬ダム本体撤去工事について
  - 2) 平成29年度工事の概要

(H29年度予定)

公園として整備

右岸  
(県道)

左岸  
(国道)

覆土 (H28 施工済)

右岸部 (P9) 遺構として残置

- ① 治水上の検討
- ② 景観的な整理
- ③ 管理主体の整理

## ダムの現況【下流から】

ダムが存在していた痕跡を残す

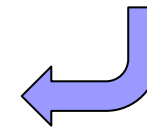


平成29年4月13日撮影

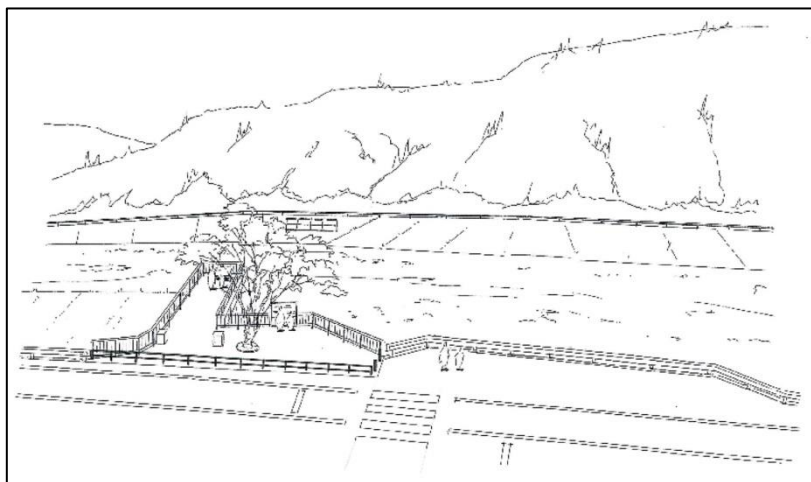
○景観的な整理



撤去前



## ダム残存部 仕上げイメージ【左岸側（国道）】



○景観的な整理

桜を残し眺望スペースとして整備する



サクラ  
(上流側親柱の脇に生育)

看板等を整備する



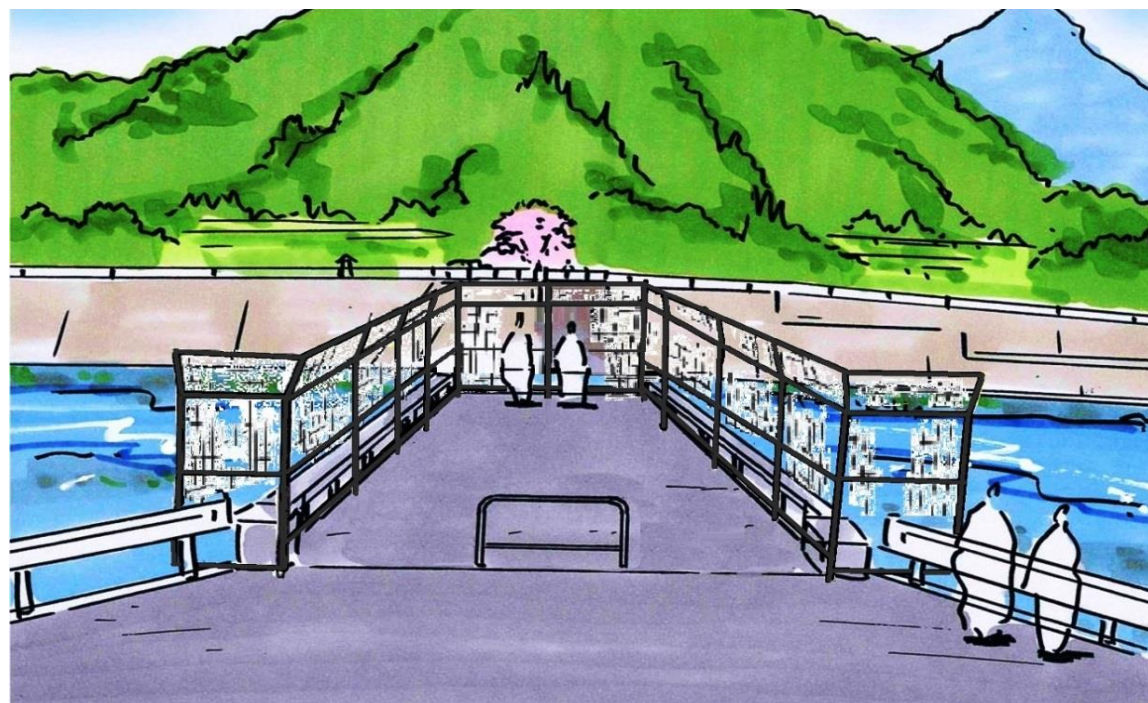
## ダム残存部 仕上げイメージ【右岸側（県道）】

○景観的な整理

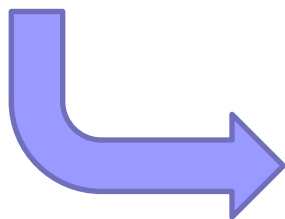
建設時の高欄等も可能な限り  
そのままの形で残す



右岸残存部のダム軸を下流から望む



荒瀬ダムをARで再現



○景観的な整理



アプリトップ画面イメージ

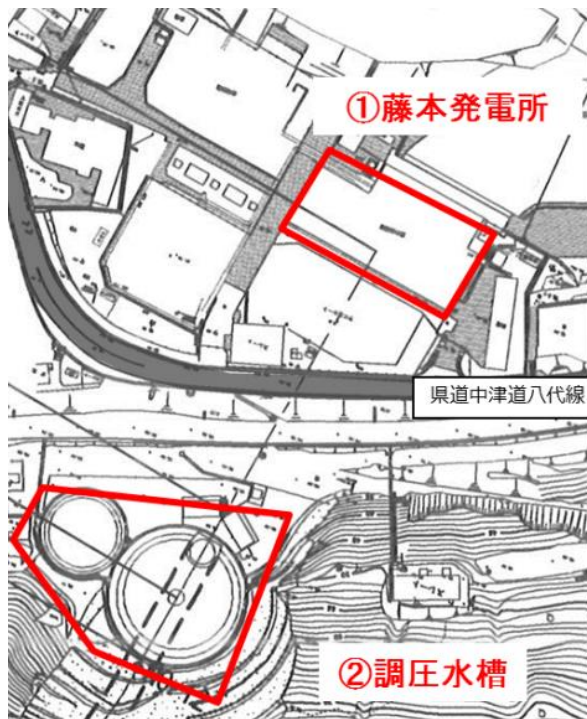


AR（拡張現実）技術を活用し、アプリをダウンロードして現地でスマートフォンをかざすと撤去前の荒瀬ダム3Dモデルが浮かび上がる仕組みを検討、整備中



## 2. 荒瀬ダム本体撤去関連工事

## 関連施設撤去について



① 藤本発電所撤去

藤本発電所



建物解体着手



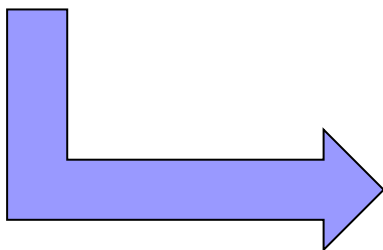
H29.7.28

継続

建物解体現況





H29.10.6

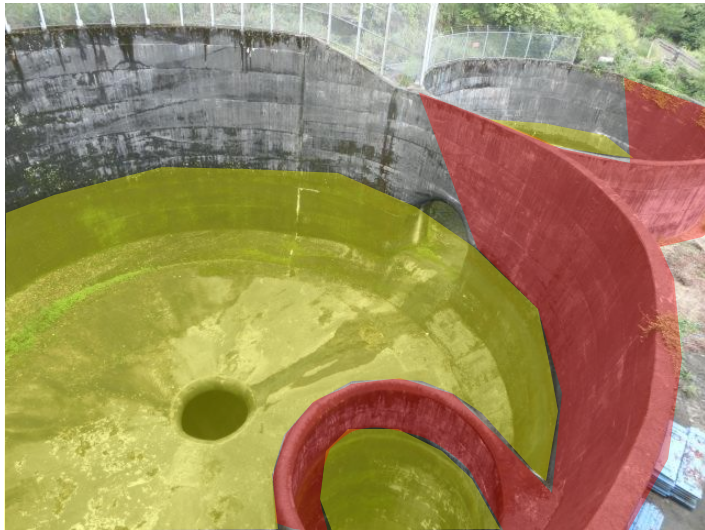


## ②調圧水槽（サージタンク）撤去

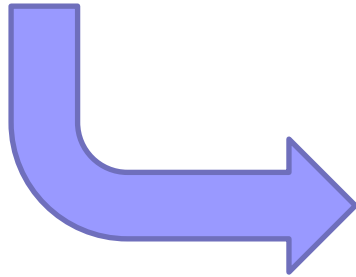
斜面側から撮影



-  撤去範囲
-  埋戻(水槽部)



②調圧水槽（サージタンク）撤去



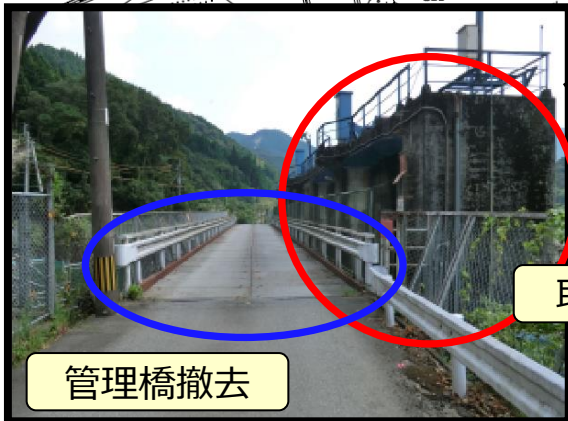
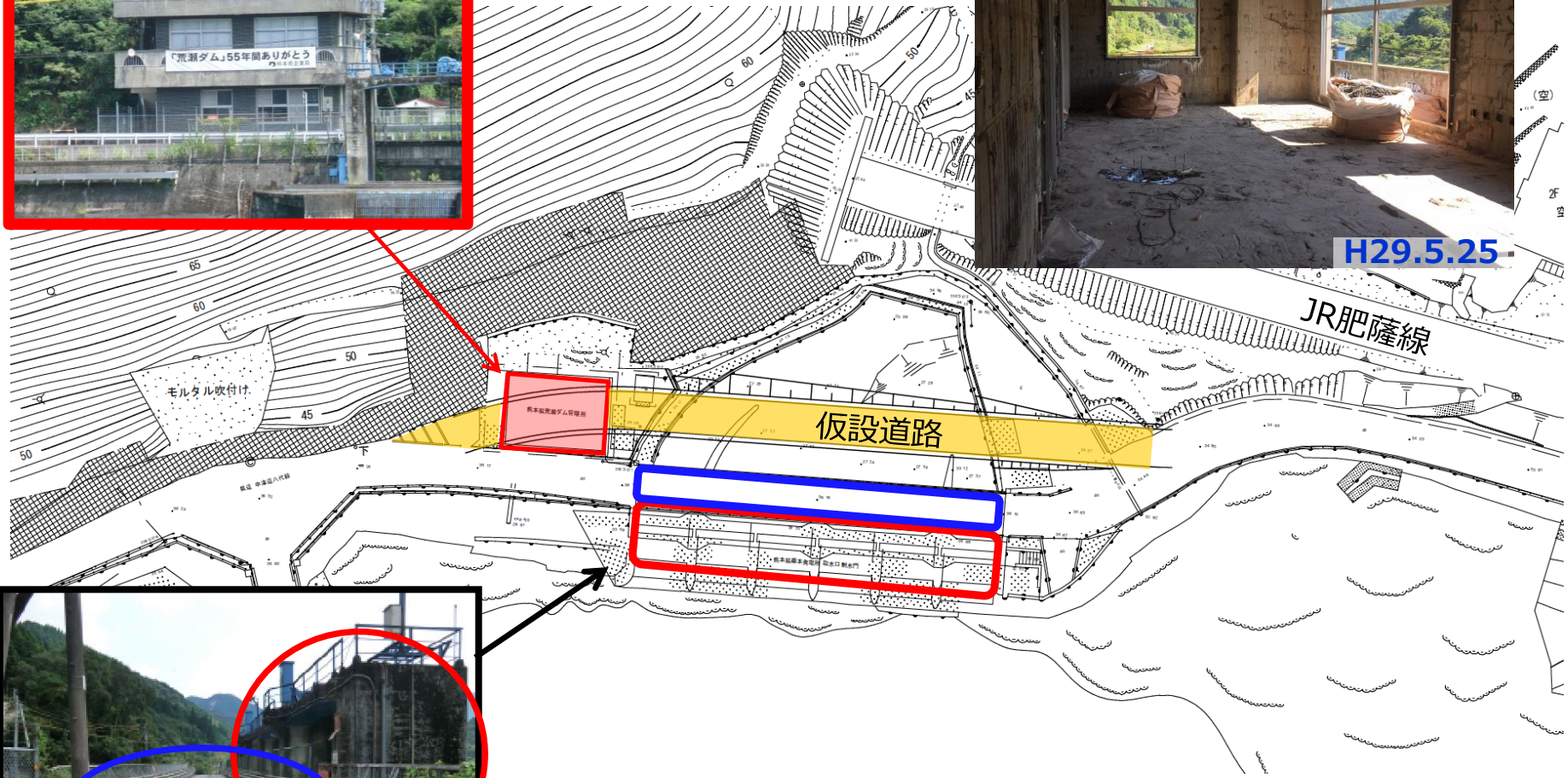
継続



H29.10.24<sub>21</sub>

### ③荒瀬ダム管理所撤去

③荒瀬ダム管理所



管理橋撤去

取水口門柱等撤去

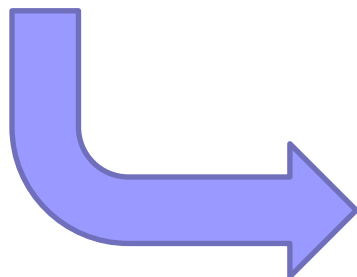
球磨川

③荒瀬ダム管理所撤去



解体状況

H29.6.14 完了



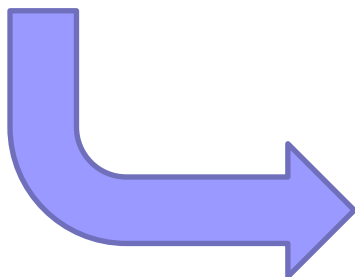
H29.9.25

# 取水施設撤去



H29.10.23

継続



H29.10.23<sub>24</sub>



## 道路改良・舗装補修工事

継続

### ○道路改良工事(県道中津道八代線)



道路改良工事 L=140m

時期:11月～

### ○舗装補修工事(県道中津道八代線)

新規

区間:大門(県南土木改良区間を除く)～葉木橋

時期:2月末～3月上旬

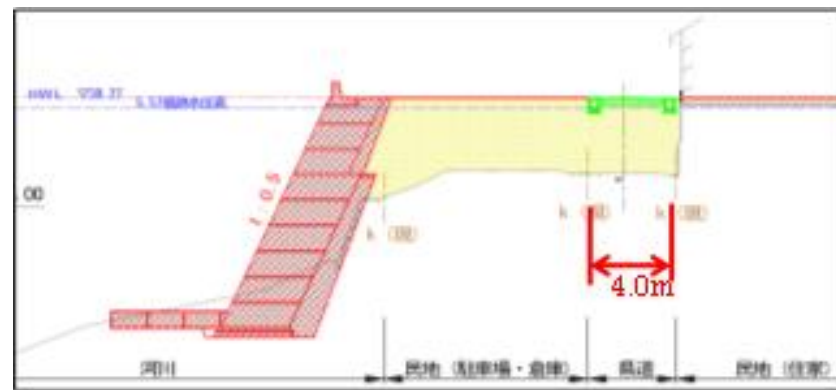
# 斜路復旧工事

施工箇所：佐瀬野地区  
工期：H29.2～H30.3  
概 要：斜路 L=120m



# 県道中津道八代線道路嵩上事業

施工箇所：中津道地区  
H29概要：用地買収



※ 球磨川河川改修事業(国)と工程を調整し実施する



# 3. 環境モニタリング調査について

## 環境モニタリング項目

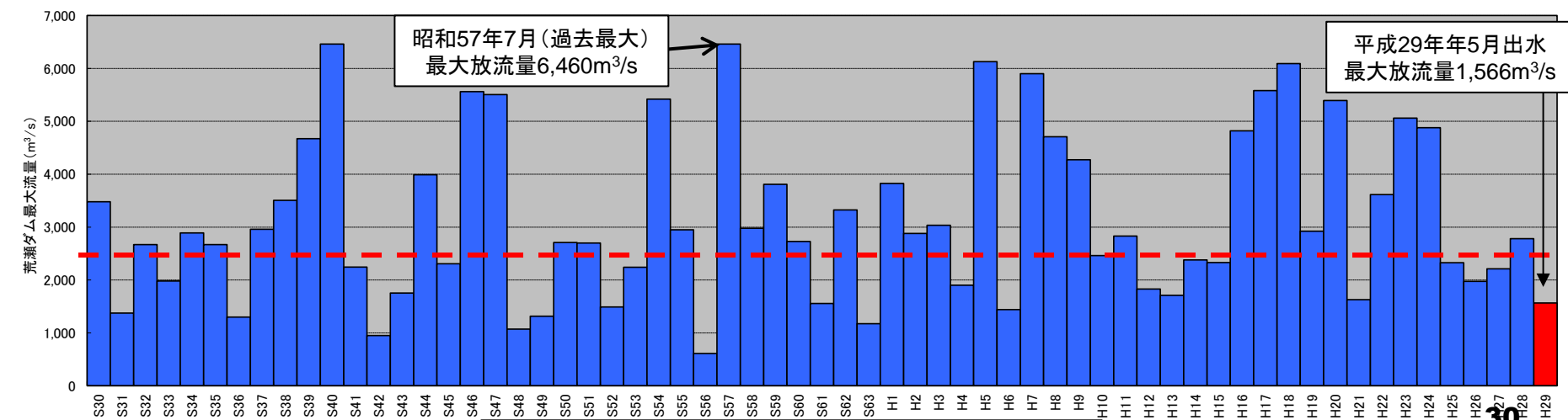
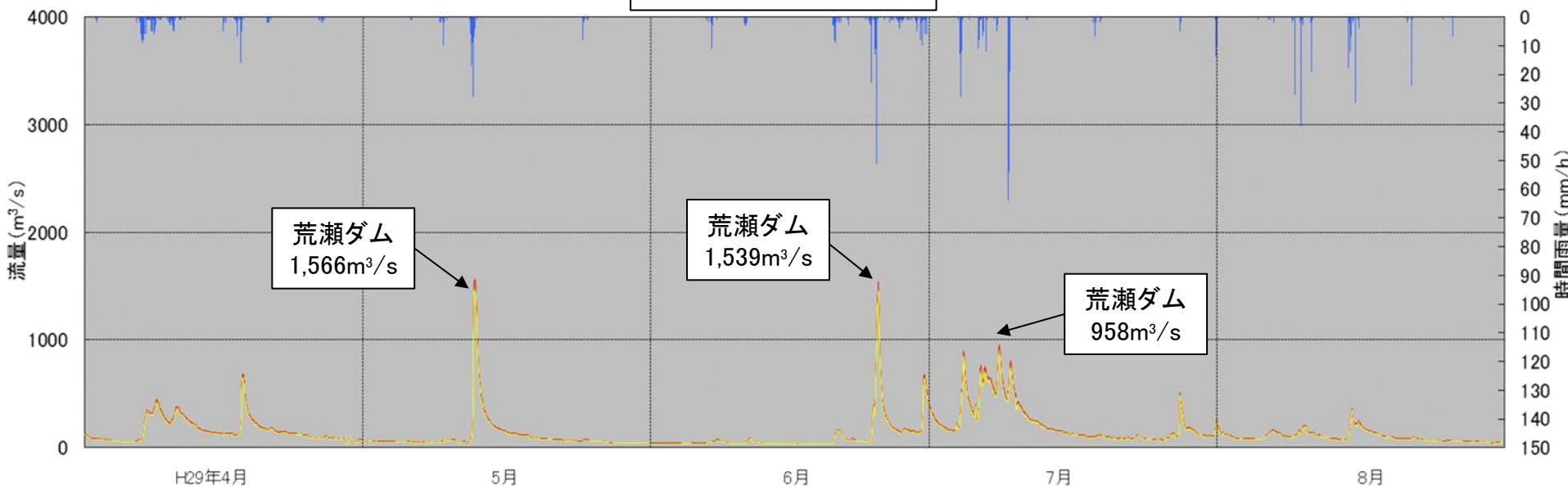
基礎項目	水 象 (流 量)	リーチスケール項目	基盤環境 (下代瀬採餌場産卵場環境)
	河川形状 (横断・深淺測量、平面測量)		基盤環境 (ダム下流物理環境：18k400)
	基盤環境 (空中写真、定点風景、河床撮影)		動 物 (アユの胃内容物)
	底 質 (粒度組成)		植 物 (ベルトトランセクト)
	水 質 (常時、定期)		
セグメント スケール項目	植 物 (付着藻類)	工事関連項目	大気汚染 (粉じん等)
	動 物 (底生動物、重要な種)		騒 音 (特定建設作業、発破作業)
	動 物 (魚 類)		振 動 (特定建設作業、発破作業)

### 3 環境モニタリング調査について

## 流量（出水状況）

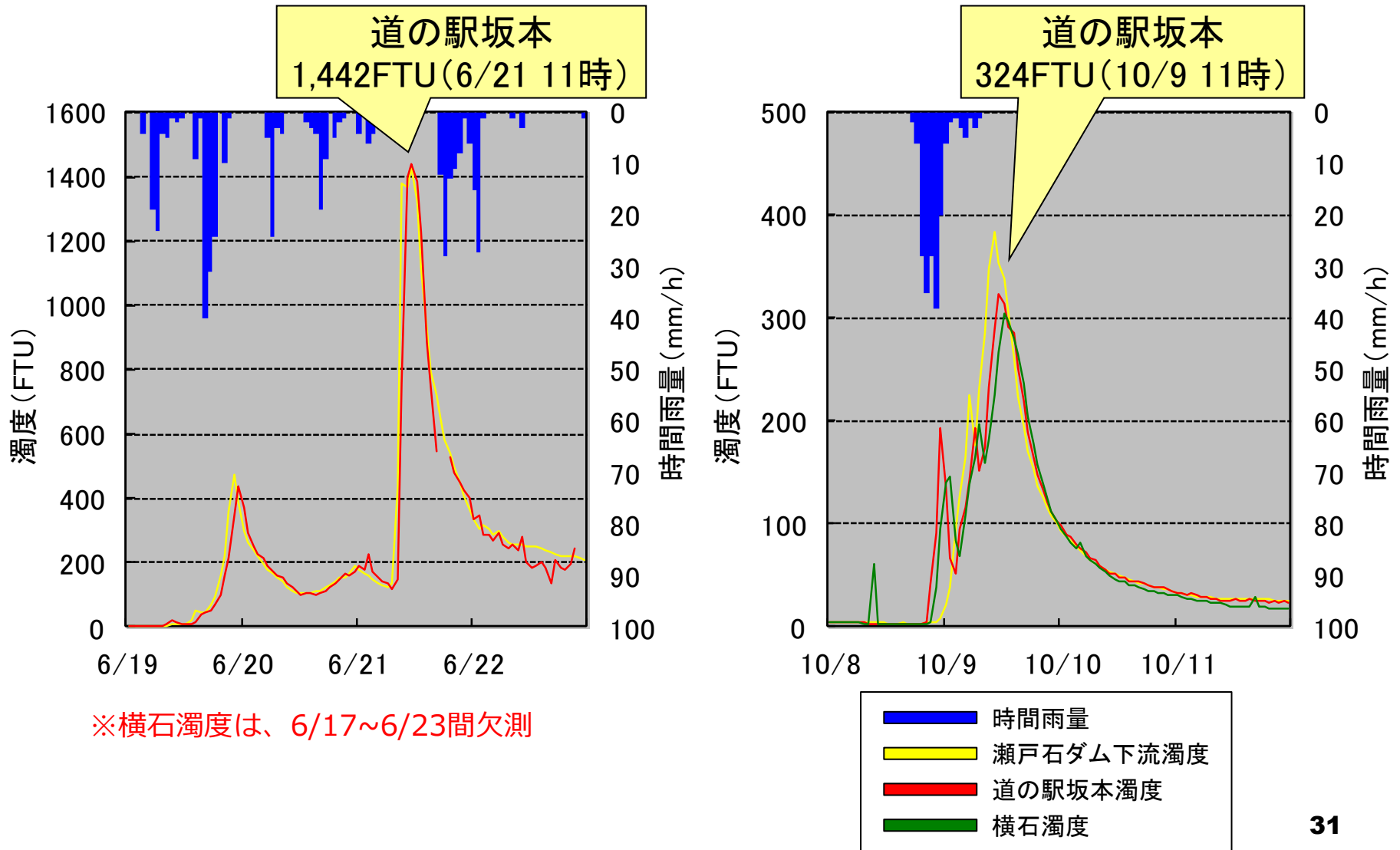
- 平成29年度前期の出水状況は、1千m<sup>3</sup>/s台が2回であった。
- 5月の出水は過去63年間で第53位の出水規模であった。

平成29年度前期の流況

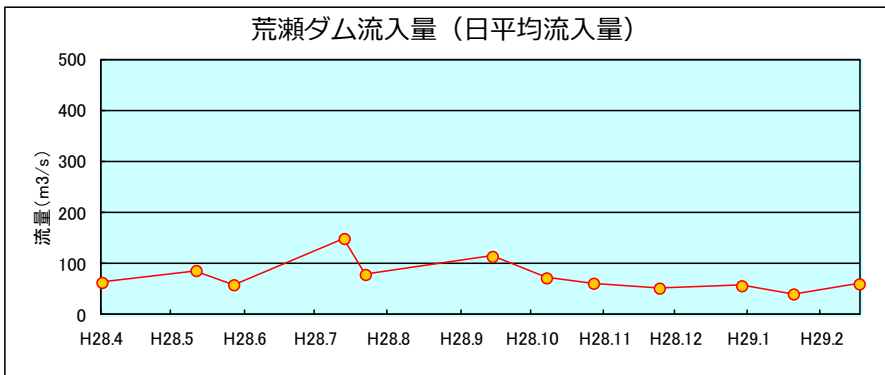
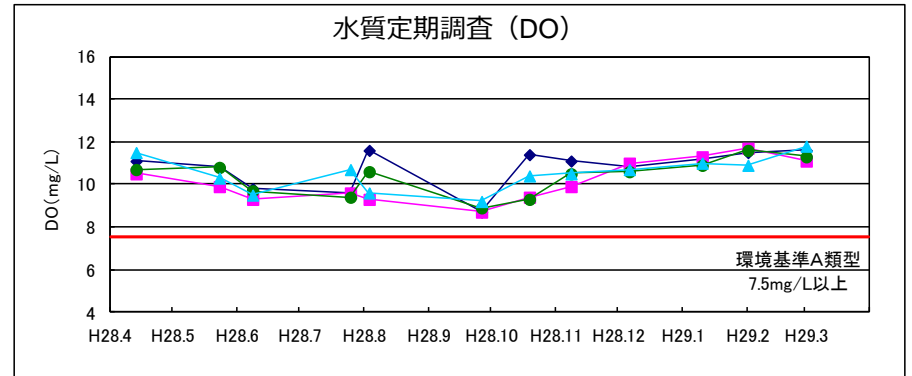
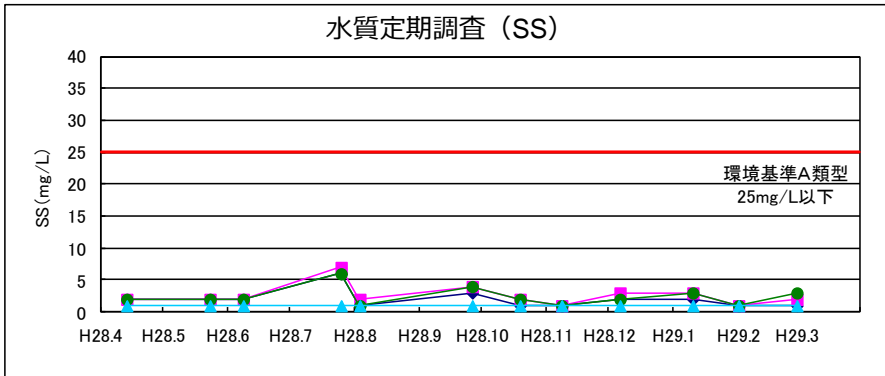
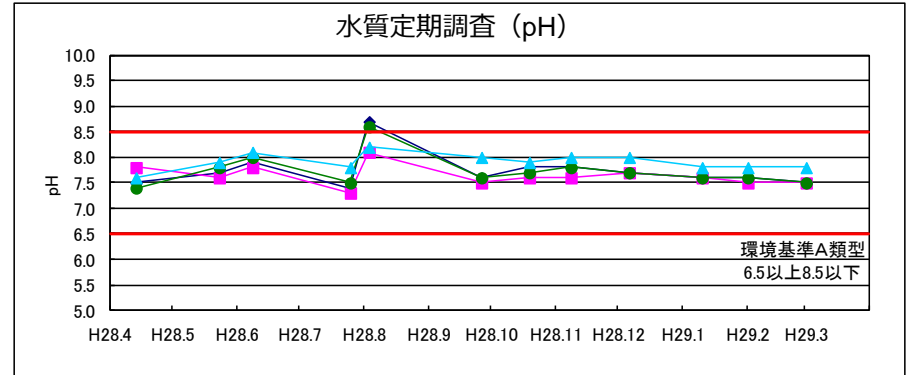
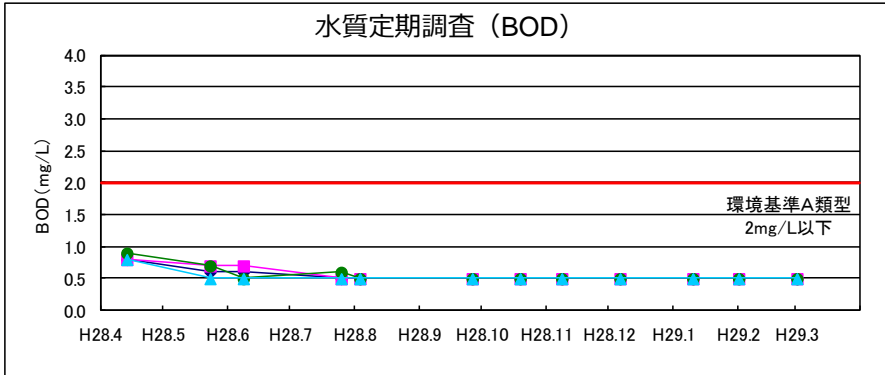


各年最大放流量(荒瀬ダム:昭和30年~平成29年)

- 瀬戸石ダム下流と比較して、道の駅坂本の濁度が長期間継続することはなかった



■ 環境基準値（河川A類型）をほぼ達成し、安定的に推移している

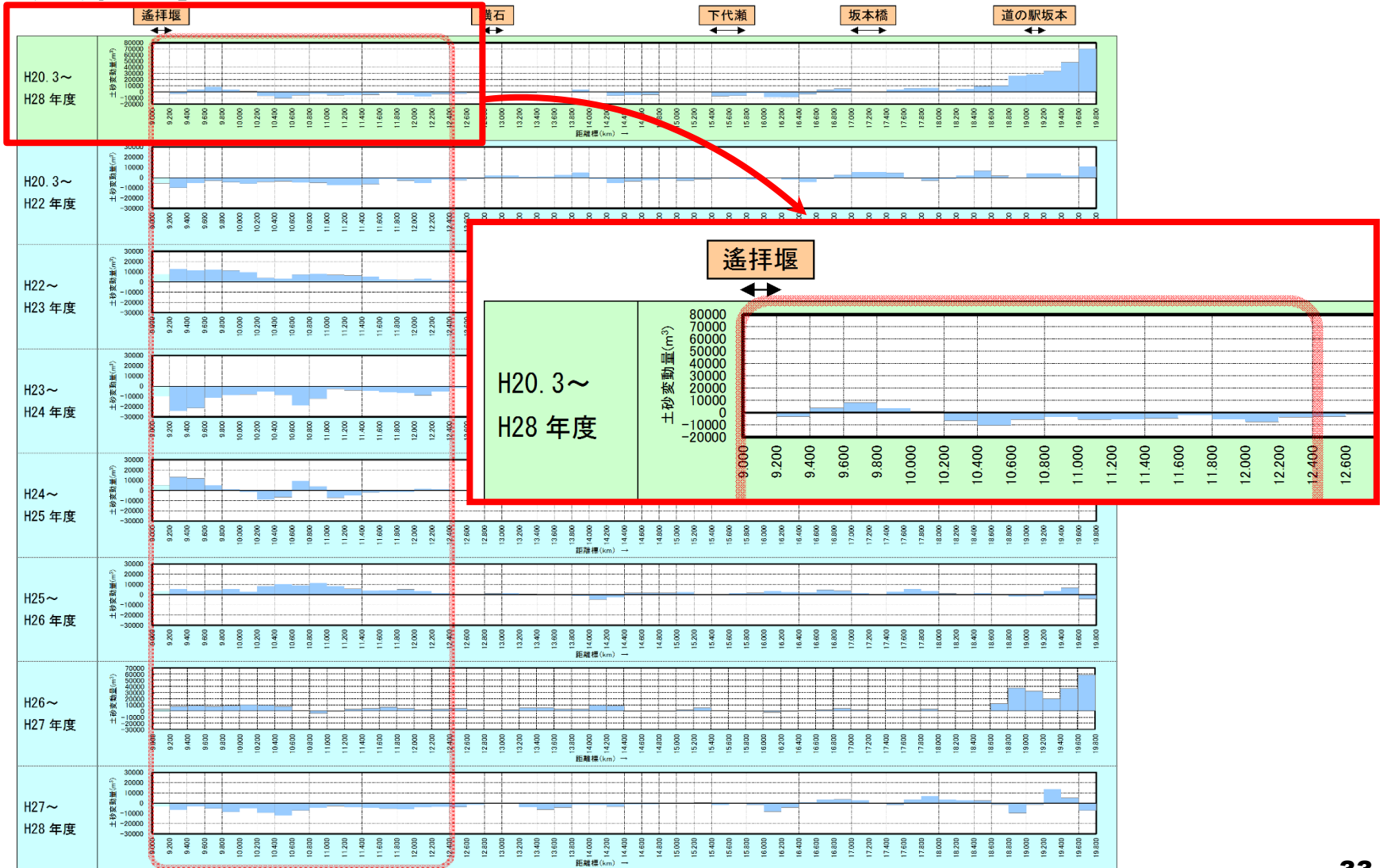


- ◆ 荒瀬ダム直上流
- 瀬戸石ダム下流
- ▲ 破木橋(百済木川)
- 道の駅坂本



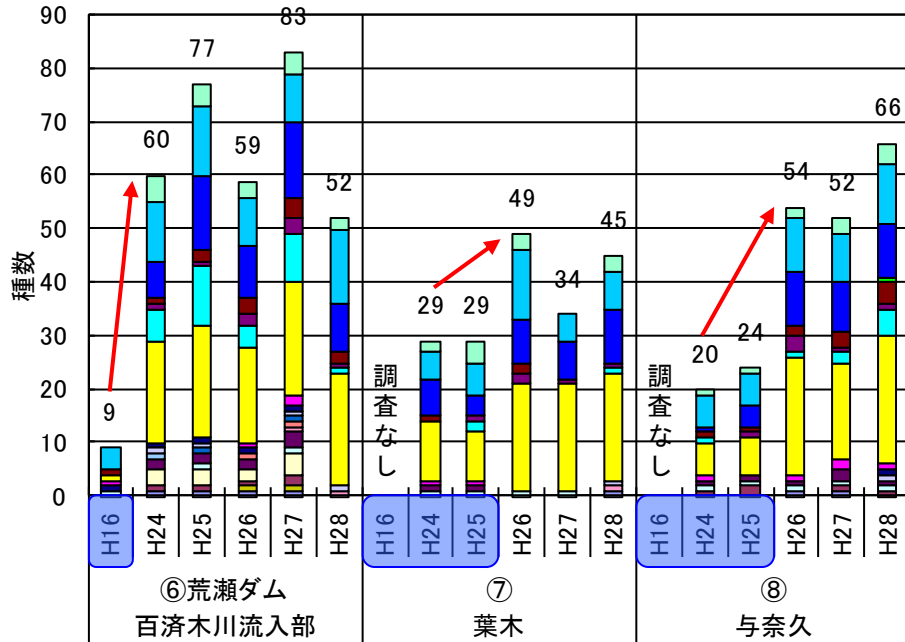
# 河川形状（土砂変動量）

- 遙拝堰湛水区間9k0～12k2は、増加と減少を交互に繰り返す。H20～28では殆ど変化なし  
【ダム下流域】

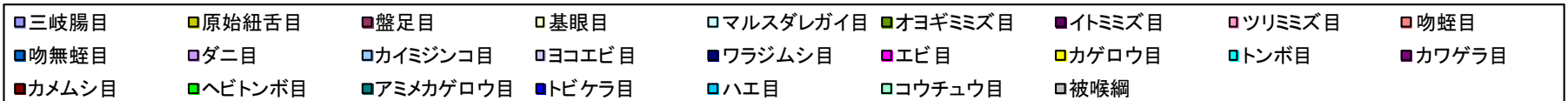
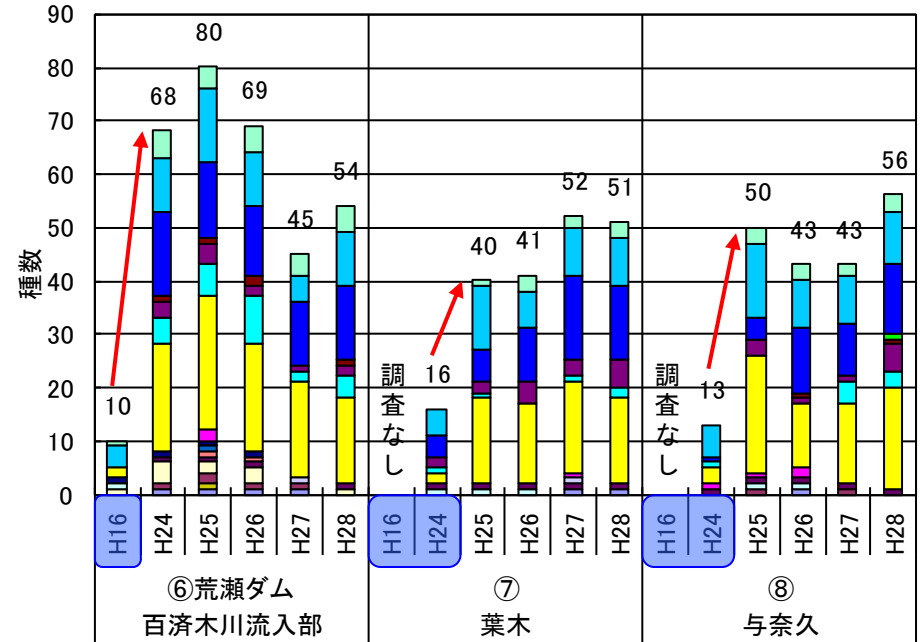


- ダム上流の流水回復区間では、流水環境への変化と同時に全種数が増加しており、平成28年度も概ねその状態を維持している

【春季】



【冬季】

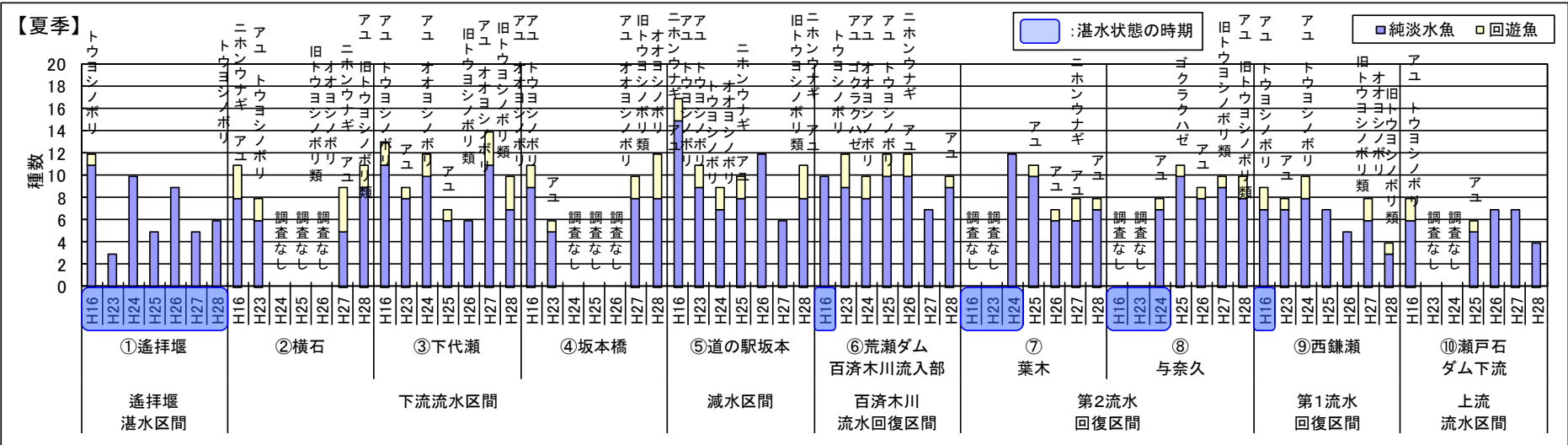


# 魚類生態調査の概要

- 平成28年度の魚類調査について、大きな変化は見られない

## 魚類調査

: 湛水状態の時期





終了